

誤検知をなくすために！

測定時の注意事項



1 測定前

✓ 手についたアルコールを洗い流す

アルコール除菌等で手指にアルコールが付着している場合は石けんで洗い流します。

✓ 口をゆすいで口内を清潔にする

口内に以下の成分が含まれる場合、誤検知の可能性あります。また、正確な測定を行うには、測定前20分以上は飲食しないよう注意して下さい。

誤検知の可能性のある主な例

- タバコの煙
- 発酵食品
- 口内洗浄剤
- 栄養ドリンク
- 入れ歯安定剤
- アルコールを含む清涼飲料水



2 測定時

✓ 風通しの良い場所で測定する

密閉された部屋、冷暖房器具を使用している部屋などで、空気が汚れている場合、起動が遅くなったり正確な測定ができない場合があります。

✓ ポータブル型アルコール検知器をご使用の場合 下を向かず前を向いて吹き込む

下を向いて吹き込んだ場合、唾液が入り込み、誤検知の原因になりますので、必ず前を向いて吹き込んでください。

✓ フィルターユニットをご使用の場合 ラッパ口を下向き(下方)にした状態でストローで吹き込む

フィルターユニットには、呼気吹き込みによる結露や唾液、その他の汚れが付きやすくなっています。各機種ともに取付方は同じで、ラッパ口は必ず下部にセットして下さい。

※簡易ストロー直径 6mm推奨



誤検知の場合

✓ マウスピースを洗浄する

※マウスピースは十分に乾燥させてからご使用ください。

✓ マウスピースを外した状態で検知器を軽く上下に振る

→ 以上の処置をして20分以上経過してから再測定してください

